



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department

Av. Paulista, 1274 – Bela Vista

São Paulo, SP – 01310-925

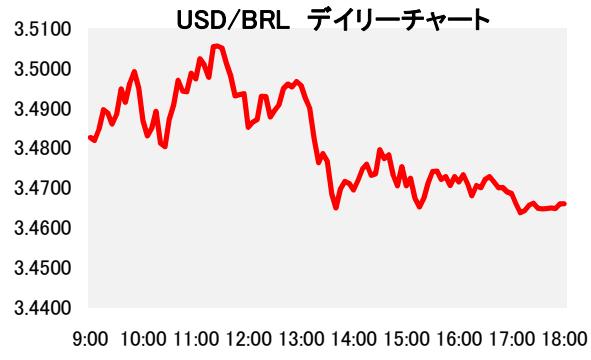
1. マーケット・レート

			6月10日	6月13日	6月14日	6月15日	6月16日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.4190	3.4820	3.4820	3.4740	3.4660	-0.0080
	BRL/JPY	Spot	31.27	30.49	30.46	30.51	30.09	-0.42
	EUR/USD	Spot	1.1251	1.1293	1.1205	1.1260	1.1225	-0.0035
	USD/JPY	Spot	107.00	106.21	106.04	106.03	104.26	-1.77
金利	Brazil DI Future	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	13.787 13.152	13.797 13.123	13.833 13.178	13.824 13.202	13.830 13.234	+0.006 +0.032
	On-shore USD	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	2.803 2.935	2.984 3.087	3.065 3.130	3.182 3.152	2.828 2.905	-0.354 -0.247
株式	Bovespa指数		49,422	49,661	48,648	48,915	49,412	497
CDS	CDS Brazil 5y		344.62	353.31	355.87	354.79	350.89	-3.90
商品	CRB指数		192.888	192.899	192.208	191.740	188.894	-2.85

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデックスです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

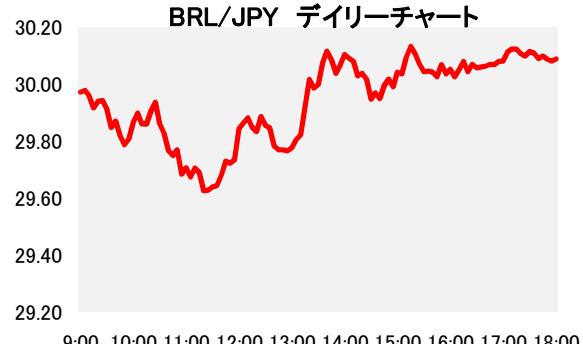
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV CPI IPC-S	0.53%	0.45%	0.59%
経済活動(前月比)	0.25%	0.03%	-0.36%
経済活動(前年比)	-4.60%	-4.99%	-6.40%
(米) 経常収支	-\$125.0b	-\$124.7b	-\$113.4b
(米) 新規失業保険申請件数	270k	277k	264k
(米) 失業保険継続受給者数	2140k	2157k	2112k
(米) フィラデルフィア連銀景況	1.0	4.7	-1.8
(米) 消費者物価指数(前月比)	0.3%	0.2%	0.4%



3. 要人コメント

テメル伯暫定大統領	(石油公社子会社の元会長が最高裁との司法取引でテメル暫定大統領の名を挙げたとの報道に対して)) 無責任な発言であり、許すことはできない
-----------	---



4. トピックス

- 本日のレアルは3.4780で寄り付いた後、株式市場を中心としたリスク資産の売りが優勢となり3.50台前半まで下落した。更にCOPOM議事録が発表され、4月の経済活動が予想比弱かったことがレアル安に拍車をかけ、正午前には本日の安値となる3.4640まで買戻され、結局3.4660でクローズした。
- 英国のEU残留、離脱を問う国民投票を控え、英中央銀行の金融政策委員会は政策金利の据え置きを決め、英ポンドが下落、ドルに対し2カ月振りの安値に近づいた。
- 本日発表された米新規失業保険申請は前週比増加し、ここ1カ月で最大となった。
- 日本銀行は金融政策決定会合で政策方針の現状維持を賛成多数で決め、1月に導入を決定したマイナス金利の効果を当面見極めることを示唆した。追加緩和見送りを受けて円が急上昇し、ドル円相場は2014年8月以来、約2年ぶりの水準となる103円台を示現した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の颁布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関する生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて、お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布することはできません。